

1 研究テーマ

「学びを生かし、明日の生活を創り出す技術・家庭科教育」
 ～生活での気づき・発見が、喜びに変わる「分かる・できる」授業づくりを目指して～

2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回		
期日	人数	場所	期日	人数	場所	期日	人数	場所・授業者	期日	人数	場所・授業者
6/4	8人	嘉島中	8/1	7人	甲佐中	11/16	8人	御船小・ 中川聖介教諭 (小中合同)	2/14	8人	御船中 野口良美教諭

3 研究の概要

(1) 研究の内容

① 授業力向上を目的とした研究授業の実施

本会では全員が免許外指導者という状況であり、各学校における指導の充実を図るためには何が必要だろうかということを考え、まず各担当者が疑問に思っていることや困っていることを事前に調査した。そして、授業を通して子どもたちに家庭分野の授業の重要性を感じさせたいと考えた。また、生活に生かせる力を養うために指導者の授業力の向上が一番重要であると考え、研究授業を行うこととした。なお、そのうちの1回は、小学校家庭科部会と合同で授業研究会を行った。このことにより小学校の実践から学び、中学校の授業実践の更なる充実を図った。

ア 第1回研究授業（11月16日 場所：御船小学校）

5年生「食べて元気に」における「分かる・できる」授業の提案

授業者：御船小学校 中川 聖介教諭



写真1 ジグソー学習に取り組む児童

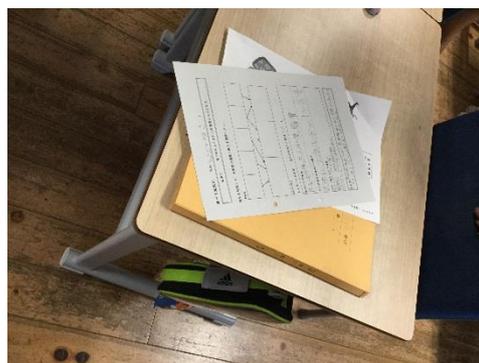


写真2 工夫されたワークシート

(ア) 自評及び意見・感想

- 児童への実態アンケートの結果から、偏食や小食が多い傾向が分かった。この授業を通して児童自身が食生活を見つめ、改善のきっかけにしてほしいとのねらいを持って授業に臨んだ。また、授業者は保健・体育の免許を保有しており、中学校での勤務経験があったため、保健・体育科の「体と健康」の分野と関連付けて指導を行った。
- 本時の授業は、教師が一方的に知識を伝達する形式になってしまいがちな内容である。そこで、児童がより主体的に学習を行えるようにジグソー学習（写真1）を取り入れた。
- ジグソー学習によって受け身の姿勢の児童が減り、積極的に授業の臨めたのは良い点だった。その反面、エキスパート活動で戸惑う児童がいたので、活動の設定を工夫すればより活発な活動になったと思う。
- 授業の導入で提示した自作の動画に始まり、児童の興味関心を引き出す工夫が盛り込まれていた。また丁寧にワークシート（写真2）や資料が用意されており、「分かる・できる」ための授業づくりがされていた。

イ 第2回研究授業（2月14日 場所：御船中学校）

内容D「身近な消費生活と環境」における「分かる・できる」授業の提案

授業者：御船中学校 野口 良美教諭



写真3 課題を主体的につかませる活動



写真4 見やすく工夫されたスライド

(7) 自評及び意見・感想

○内容Dは、これまで教科書中心になり、生徒は聞くことが多くなってしまいがちであった。課題を主体的につかませるために、身近な野菜ジュースを取り上げ、その表示の課題点に気づかせる活動（写真3）を入れた。資料をたくさん準備したのでよく活動できていたが、課題の設定の仕方をもっと工夫すればよかった。

○授業を見ていて、UDの視点が取り入れられ、とても見やすくわかりやすかった。特にスライドやワークシートに使用されているフォント（写真4）が見やすかった。

○子どもたちからは賞味期限が長いものがよいという意見があったが、逆ではないか？短い方が添加物など少なくて健康に良いものであると感じた。やっぱり人によって見る視点が違うのを改めて実感した。子どもたちにも伝えたい。

○時間が後半に足りなくなったが、実態アンケートの提示とその後の活動の目的が重なっており、どちらかを省くことで中心活動をもっと深められたと思う。

② 調理実習指導内容と方法についての実技研修の実施

部会員の先生方からは、「調理実習で何を作らせたらいいのか。」「どう指導をしていいのか。」悩む声が多く聞かれた。そこで調理実習を実際に行い、調理実習の指導のポイントや注意点などを研修した。なお、研修後に各学校で実践に生かすことができるように、調理のテーマは各町の郷土料理とした。

(2) 成果と課題（○：成果 ●：課題）

① 授業力向上を目的とした研究授業の実施

○2回の授業研究会を通してお互いの実践を深めることができた。また、先生方が授業を行う上での悩みや工夫点についても情報を交換することができ、大変有意義であった。

○小学校との合同の授業研究会では、小学校家庭科の視点から意見交換ができた。小中共に学習する内容があることがわかった。しかし、その学習の方法や形態が違うことが分かり、児童生徒の発達段階に合わせて学習の方法を検討することの大切さを学ぶことができた。

○2回の授業とも子どもたちに主体的に学習をさせる工夫がされていたことがとてもよかった。その内容の興味・関心が高まるだけでなく、家庭分野そのものの興味・関心が高まることにもつながっていると感じた。

○免許外の指導者で構成されている部会のため、自分自身の授業実践で大丈夫なのかが不安である。お互いに授業を見合う中で意見を交換し、学んだことを自分の実践に生かすことができていることが最大の成果である。

●各内容の最後で取り扱うべき環境とのかかわりの授業をどうしているか知りたい。来年度はその実践を紹介してほしい。

② 調理実習指導内容と方法についての実技研修の実施

○実際に調理や試食、由来の紹介を行った。各町の郷土料理の由来と調理方法について詳しく知ることができた。また、ここで学んだことを子どもたちにも紹介していきたい。

●調理実習での評価の仕方について協議を行えなかった。各学校でどのようにして評価をしているのか、お互いに疑問があると思われるので、今後研修の機会を持ちたい。

4 実践事例

(1) 学習指導案（御船小 中川教諭）

第5学年1組 家庭科学習指導案

日時 平成30年11月16日（金）第5校時

場所 5年1組教室 指導者 教諭 中川 聖介

1 題材名 5年「食べて元気に」（開隆堂）

2 本時の学習

(1) 本時の目標 五大栄養素の種類と体内での主な働きがわかる。

(2) 本時の展開

過程	学習活動	◎教師の発問や指示 ・予想される児童の反応	指導上の留意点と評価
み と お す (7分)	1 前時の学習を振り返り、めあてを確認する。	◎前回、食べることは何で大切なのか学習しました。	◎家族の思いを確認し、本時の学習の方向付けを図る。
	2 VTRを視聴し、本時の課題を確認する。	◎VTRを見て、今日考えることを確認しましょう。	◎視覚的に課題を提示し、すべての児童と共有化を図る。
	食べ物にふくまれる栄養素とは何か知る。		
	暗号を解読して、栄養素の種類と働きを理解しよう。		
ふ か め る (13分)	3 ジグソー法を用いて、五大栄養素について理解を深め、課題解決を図る。 (1) 既習内容やこれまでの経験を活用して、個人で取り組む。 (2) エキスパート活動 A：エネルギーになる物 B：体をつくる物 C：体の調子を整える物 (3) ジグソー活動 (4) クロストーク (5) 再び各自で課題を決定する。	◎これまでの経験や学習を生かして、暗号を解読しましょう。 ・確か、お昼の放送で・・・ ・炭水化物って聞いたことが・・・ ◎班で役割分担し、各自が担当する資料を調べてきましょう。 ・みんなのためにがんばるぞ。 ・何が大切なのかな？ ◎班で報告し合ひましょう。 ・私は調べてきて・・・ ◎班で暗号を解読しましょう。 ・矢印の数からいくと ・体での働きは・・・ ◎もう一度、自分で暗号を解き直しましょう。 ・栄養素は5つあるんだね。 ・栄養素をとると、体の中で・・・	◎「働き」という言葉の共通理解を図る。 ◎現状を確認し、学習意欲を喚起する。 ◎ジグソー法を用いて、主体的で全員参加の学習の実現を目指す。 ◎すべて書けなくてもよいことを伝え、安心して学習に臨めるようにする。 ◎時間を視覚的に提示し、班長を中心に自治的な話し合い活動ができるように支援する。 ◎できるだけ指導者は支援を行わず、児童の思考の流れを大切にす。
	B：体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解し、書き出している。 A：栄養素の重要性を理解している。		
つ な げ る (5分)	4 学習のまとめをする。	◎今日の学習で何を学習しましたか。 ・五大栄養素で、働きは・・・	◎教科書を用いて今日の学習を明確にし、次時の学習の意欲喚起を図る。

第1学年1組 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

日時 平成31年2月14日（木）第5校時

場所 1年1組教室 指導者 教諭 野口 良美

1 単元名 D「身近な消費生活と環境」（私たちの消費生活～商品の選択と購入～）

2 本時の学習

(1)本時の目標

○多くの情報の中から、適切な情報を収集・整理し活用することができる。（技）

○自分自身の消費生活についての課題を見つけ、その解決策を工夫している。（工・創）

(2)本時の展開

過程時間	学 習 活 動	教師の発問・指示・支援（○） 予想される生徒の反応（・）	備 考
導入 5分	1 自分自身の消費生活について振り返る。 (1)アンケート結果から考える。 (2)本時の学習目標を確認し、各自の課題をもつ。	○自分自身の消費生活を思い出すことができるように、アンケート結果を活用する。 ○本時の目標を提示し、学習課題を意識して学習するよう促す。	・メニューボード ・大型テレビ
めあて：買い物をするとき、どのようなことに気を付けるとよいか考えよう！			
展開 37分	2 野菜飲料のパッケージを吟味する。 (1)注目するところに線を引き、線を引いたところに対して注目した理由や自分の考えを書く。班で意見交換し、理由を発表し、全体で話し合う。 (2)野菜飲料に関する新聞記事を読む。	○購入のポイントは？注目するところに線を引き、その理由を書こう。 ・野菜汁、果汁100%だとそのままがいい。 ○各自考える時間をしっかりとる。 ○班で役割分担をすることにより意欲的に活動に取り組めるようにする。 ・これだけで1日分の野菜が手軽に摂取できる。 ○新聞記事を拡大したものを見ながら、生徒が線を引きながら思考を広げていけるようにする。	・野菜飲料カラーのパッケージ拡大版 ・野菜飲料カラーのパッケージ掲載の学習シート 評価：技（学習シート） ・ホワイトボード ・新聞記事
このパッケージの問題点は何だろう？			
	(3) 広告や商品に対する疑問点や問題点をあげる。 (4) 班で意見交換し、理由を発表し、全体で話し合う。	○批判的思考で野菜飲料のパッケージを見るように伝える。 ○広告や商品に対する疑問点や問題点をあげるようにする。 ○前半と後半の班活動で使用するボードの色を変えることによって、思考の変化を可視化する。 ・注意点をもっと大きく書いた方がいい。 ・これを飲めば野菜を食べなくていいととらえてしまう。	・ブルーボード
まとめ：これから、どのようなことに気をつけて商品を選びますか。			
まとめ 8分	3 本時の学習のまとめをする。	○授業の振り返りでは、「今までの自分」「今日の学び」「これからの自分」という視点を与えることで、めあてに沿った振り返りをさせる。	評価：工・創（学習シート）